



【 「心を一つ」にして活動するすばらしさ 】

○ 6年生は1泊2日の宿泊学習を無事に終わりました。日頃、私は6年生と一緒に活動することはないのですが、今回2日間、ともに行動・活動をして、6年生のすばらしさを肌で感じました。これまでの中で、私にとってトップクラスの宿泊学習でした。また、心を一つに、協力しながら物事をやり遂げるとは、この6年生の姿を指すのだと思いました。

○ 例えば、今日、野外炊飯の焼きそばづくりで、次のような姿がありました。

<目が見えないくらいの煙が立ち上る中で、焼きそばを作っている子供がいたとき>

- ・隣にいた子供がうちわで煙を横にあおぎ、作っている友達の顔から煙が遠ざかるようにしていました。
- ・隣にいた男子が「作るの、代わってあげるよ。」と言って、作っている女子と交代しました。それを見ていた近くの女子が、その男子に「(煙がひどくて)大丈夫？」と気遣っていました。
- ・灰が作っている女子の髪の毛に付いたとき、隣にいた男子が手で灰をはらってあげました。

○ また、「森のアドベンチャー」の「そり滑り」では、みんなで協力しながら「そり(チューブ)」を押ししたり、滑りやすいようにシート磨きや水巻きなどをしたりしました。そして、そり滑りをする人をみんなで見守っていました。

○ 誰一人、自分勝手なことをしたり、相手に嫌な思いをさせたりすることがないどころか、このような互いに心の底から助け合う姿が、下級生にとって最高のお手本となります。本当にすばらしい6年生です。

